

建物の概要

本館は江戸時代の遺跡である「三日月藩乃井野陣屋跡」を保存・整備するため平成11年から復元をおこなったものです。この整備にあたっては古文書や絵図、発掘の調査成果などを元に各分野の専門家の意見を取り入れて行い、その方針としては「伝統的技術による文化財たり得る」復元をめざしたものです。

陣屋館の内容

中御門・橋

中央に位置する陣屋で最も格式の高い門で、藩主不在のときは閉ざされていたようです。橋を渡って入った左側に番所がおかれ、また2階には時打太鼓があり陣屋町の門扉の開閉する合図や時を知らせる手段として使用されていたようです。

通用御門・橋

中御門の東側に位置する門です。橋を渡って入った右側に番所がおかれています。

長屋門

西端にある長屋形式の門です。陣屋館ではここを入り口としており、入った所に受付を置いています。

物見櫓(町指定建造物)

今に残る陣屋唯一の建物です。2階の出格子からは旧の武家屋敷地など、遠くまで見通せる絶好の場所です。明治以後学校として使用され、2回移築されながらも現在まで伝わったものです。

長屋

中御門と物見櫓の間にある幅約5mの建物です。陣屋館ではここを簡易な展示室として利用しています。

石垣・堀

陣屋正面にある堀と石垣は、藩主の居場所を区切ることでその威を高める役割をしています。

展示室

○陣屋に関するもの

物見櫓の櫓瓦、鎧甲、絵図(写真)、陣屋から出土した瓦・陶磁器
そのほか説明パネル・写真

○その他

説明パネル、復元工事中写真など

[展示品は人替えたり、内容を変更することがあります]



M A P

J R 姫 新 線 三日月駅から徒歩約15分
播磨自動車道 新宮ICから車で約15分
中国自動車道 佐用ICから車で約15分

当館までのアクセス

- 開館日: 土・日曜日・祝祭日 (年末・年始は休館日)
- 開館時間: 午前10時～午後4時
- 入館料: 無料

当館利用案内

- 展示資料にはお手を触れないでください。
- 展示資料の撮影はご遠慮願います。
- 建物内での喫煙及び火気の使用は禁止です。
- 建物内での飲食はご遠慮願います。
- 建物内へのペットの連れ込みはご遠慮願います。
- 他の見学者に迷惑のかからないようにご覧下さい。
- その他、管理者の指示に従ってください。

おねがい

お問い合わせ

乃井野陣屋館

679-5134 兵庫県佐用郡佐用町乃井野966 Tel.0790-79-3002

佐用町教育委員会

679-5301 兵庫県佐用郡佐用町佐用2600-2 Tel.0790-82-2424

三日月藩

乃井野陣屋館



兵庫県佐用町



陣屋のあらまし



「旧三日月藩郭内之図」(模写)

◎三日月藩の成立と陣屋の造営

三日月藩は、森忠政が開いた津山藩森家(現岡山県津山市)が1697(元禄10)年に改易となったとき、その分家であった森長俊がこの播磨三日月に移されたのが始まりです。

陣屋は藩が成立するにあたって造られたもので、いくつかあった候補地の中からここ乃井野の地が選ばれました。

そして造営にあたっては、この場所にいた庄屋を他に移して陣屋を造り、さらに道路や屋敷を整備して家臣たちの屋敷を造っていったようです。こうした陣屋・屋敷がほぼ出来上がったのが1700(元禄13)年ごろと伝えられています。

今に残る絵図を見ると、陣屋と武家屋敷は北側を山に囲まれ南側を西流する志文川で限られた中にあり、この中が郭内と呼ばれる藩の中心部となっています。

この陣屋は、その後森家九代174年間、藩主の起居する場所として、また三日月藩の藩政の中心として機能していくことになりました。



八幡神社



三方里山公園



周辺MAP



庭園跡



列祖神社・廣業館



復元された陣屋の門・長屋

長屋門

物見櫓

長屋

中御門

通用御門



陣屋館周辺の案内

○旧武家屋敷地

三日月藩士の武家屋敷地跡で、道には折曲や食違があり、所々に門が配されていました。屋敷は主に短冊形の敷地で前栽・畑・倉などが中に入ったようです。現在でも町割りに当時の姿を色濃く残しています。

○八幡神社(本殿・町指定建造物)

京都の石清水八幡宮の播磨別宮として勧請されたと伝えられます。現在の本殿は1656(明暦2)年の建立で、近世神社本殿建築の特徴を典型的に示し、細部意匠にも優れています。

○^{れっそ}列祖神社

もと江戸藩邸で森家先祖を祀っていたものを、明治初期に移して神社としたものです。現在残る絵図はこの神社に奉納されたものです。

○^{こうぎょうかん}廣業館

明治に廣業小学校として使用されていた建物で、学校の名前は三日月藩校の廣業館から採られていました。後に保存のためここに移築されたもので、当時の建築様式を今に伝えています。

○庭園跡

築山式の枯山水庭園で、陣屋に関連するものと考えられています。

○^{さんぼりさん}三方里山公園(演武場跡)

幕末のころ藩が兵士の訓練のため造った演武場といわれ、いまでも一部に当時の石垣などが残っています。現在は公園となっており、陣屋から町にかけて広く見渡すことができます。

○^{ひぎり}日限地蔵尊

江戸時代、深く地蔵を信仰した三日月藩士により祀られたもので、日を限って願い事をするとかなうといわれています。